



祝祭日には



を掲げましょう

いまこそ集落創生

第29回 安沢地区



①



②



③



④

①清龍寺の跡地に舞台付き伝統文化伝承施設として建てられた公民館
②清龍宮の後ろが散策道の入り口となっている③④安沢歌舞伎の一場面

安沢地区は、水のきれいな上台川の流域で町中心部から南東に3.5km、現在は58世帯、人口201人が暮らしています。

安沢地区を紹介するにあたり、欠かせないのが「歴史」と「ロマン」だと佐藤一男区長は語ります。安沢地区の周囲には、「松の木」「檜台」「桃の木川」などの植物の地名が多いことから、「ヤスザワ」も「ザワグルミ」が地名の語源だろうと元金山町史研究員の故大場勇夫先生の話があります。現在の公民館の場所には「清龍寺」というお寺が建っており、清龍寺は明安小学校創立の始まりであったと言われています。お寺の名残りは公民館の脇に「清龍宮」という形で残っています。清龍宮の後ろから登ると「十王堂」があり、周辺には赤穂浪士で有名な「赤穂の四十七士」が眠る墓が点在し、周囲はひめゆりが咲き誇り幻想的な雰囲気を出しています。これらを起点に「後山散策道」が整備されています。

安沢地区のロマンはなんと言っても安沢歌舞伎。江戸期に生まれ近郷近在の村々からお祭りに頼まれ上演することが多かったそうです。現在は明安小学校の児童たちによる子ども歌舞伎として伝承することで、地域の文化を紡いでいます。また、安沢囃子若連が昭和54年に結成され、祭りの時期は囃子の音が地区内に響きます。

安沢地区は住民同士のまとまりがあることが特徴です。今年は新型コロナウイルス感染症の予防対策の為、地区行事を中止してはいけないう状況ですが、「今後も地区の住民同士で一緒に語り合いながら、知恵を出し合い、より一体となって地区を運営していきたい」と区長は意気込みます。

金山町の人口は、5,296人（6月末現在）

男性 2,589人（-2）
女性 2,707人（-7）
世帯数 1,754世帯

▼6月の異動
出生 0人
死亡 12人
転入 8人
転出 5人

編集 後記

▼新型コロナウイルスの感染拡大で、東京では連日200人を超えたと報道されています。私も都会にいる友達に会えず、寂しい日々を送っていますが、オンラインで互いの近況を報告し合っています。梅雨が明けると、気温も高くなります。マスクによる熱中症に気をつけ、手洗い・うがい・換気を心がけ、生活していきましょう。

▼今年度は、残念ながら金山祭り・花火大会の中止が決定しています。皆さんはどんな8月を過ごす予定ですか。例年とは違う夏の予感ですが、思い出ができるように充実した日々を送りたいものです。